

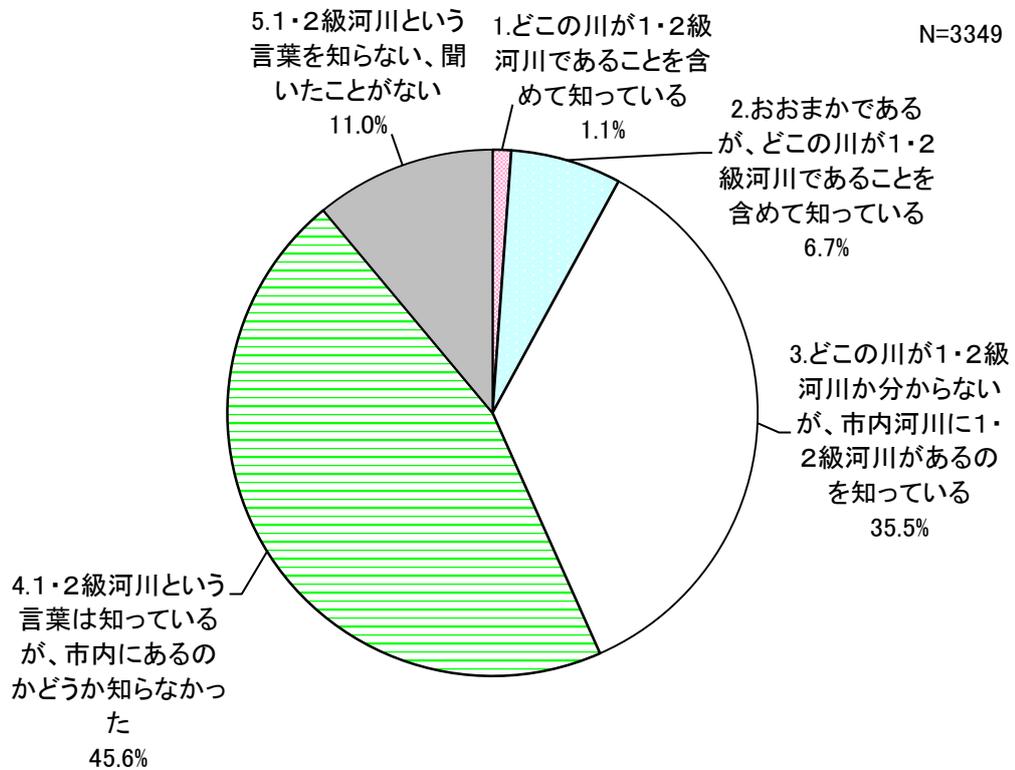
神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	神戸市内を流れる河川の管理について
調査期間	令和3年4月8日（木曜）～4月21日（水曜）
設問数	全6問（分岐設問除く）
対象モニター数	4,425名
回答モニター数	3,349名（75.7%）

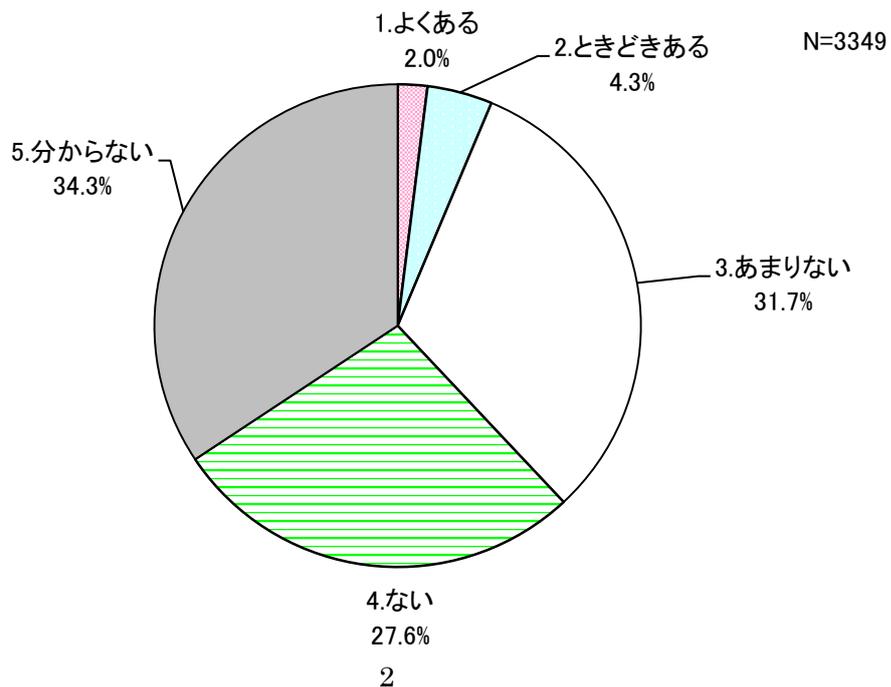
【調査結果概要】

- ・約9割の市民が「1・2級河川」という言葉を知っているが、どこの川が「1・2級河川」に該当するかを知っている市民は、おおまかである場合を含めて7.8%であった。
- ・市内を流れる河川につき、河川によって県や市と管理する自治体が異なることで不都合・違和感を覚える市民は、「よくある」「ときどきある」を合わせて6.3%であった。
- ・市内の河川敷や親水空間の利用につき、「散歩やランニングなど」（30.9%）「子供の遊び場など」（13.8%）が多い一方、「河川敷や親水空間に入ることはない」市民も57.2%であった。
- ・市内の河川の管理に特に力を入れて欲しいことにつき、「台風や大雨の時に河川からの溢水など災害が発生しないように」（71.6%）「自然を感じる川づくり、魚などの生物がいる川づくり」（49.1%）「草刈や清掃」（44.6%）の回答が多かった。
- ・自由記述での市内河川へのご意見・ご感想は858件あり、市内の河川について、行政へのご批判を含めたさまざまな声が寄せられた。

問1 市内を流れる河川が流域の大きさの違いなどで1・2級河川などと位置付けられているのをご存じですか。



問2-1 市内を流れる川は、兵庫県と神戸市が河川の種類ごとに管理していますが、河川によって県や市と管理する自治体が異なることにより不都合な点があったり、違和感を覚えたことはありますか。

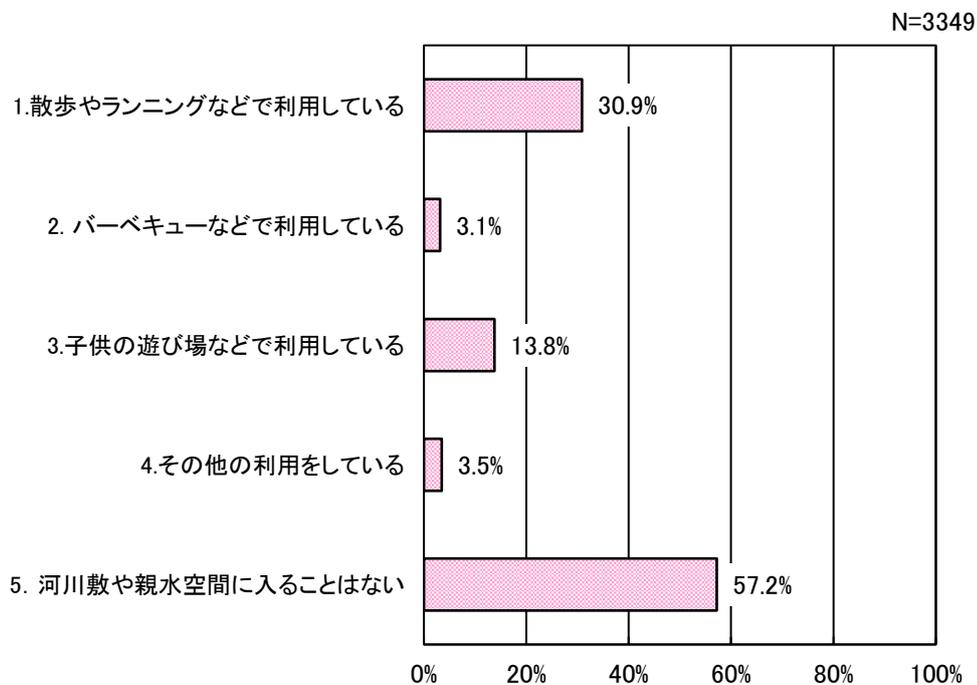


<問2で選択肢1、2を選んだ方>

問2-2 どのような場面で、そのように感じましたか。

- ・「困ったときの連絡先」「窓口が複数」「たらい回し」など連絡先が管理河川により異なることや「災害時の対応」という回答が多かった。
- ・「二重行政っぽい」「政令市なら道路と同様に河川管理も市で良い」という意見があった一方、「県に一元化すべき」「大阪みたいに県市一体での取り組みを」という意見もあった。

問3-1 普段の生活や休日のレジャーなどで、市内の河川敷や親水空間を利用していますか。利用している場合には、どのように利用していますか。(該当するものすべて)

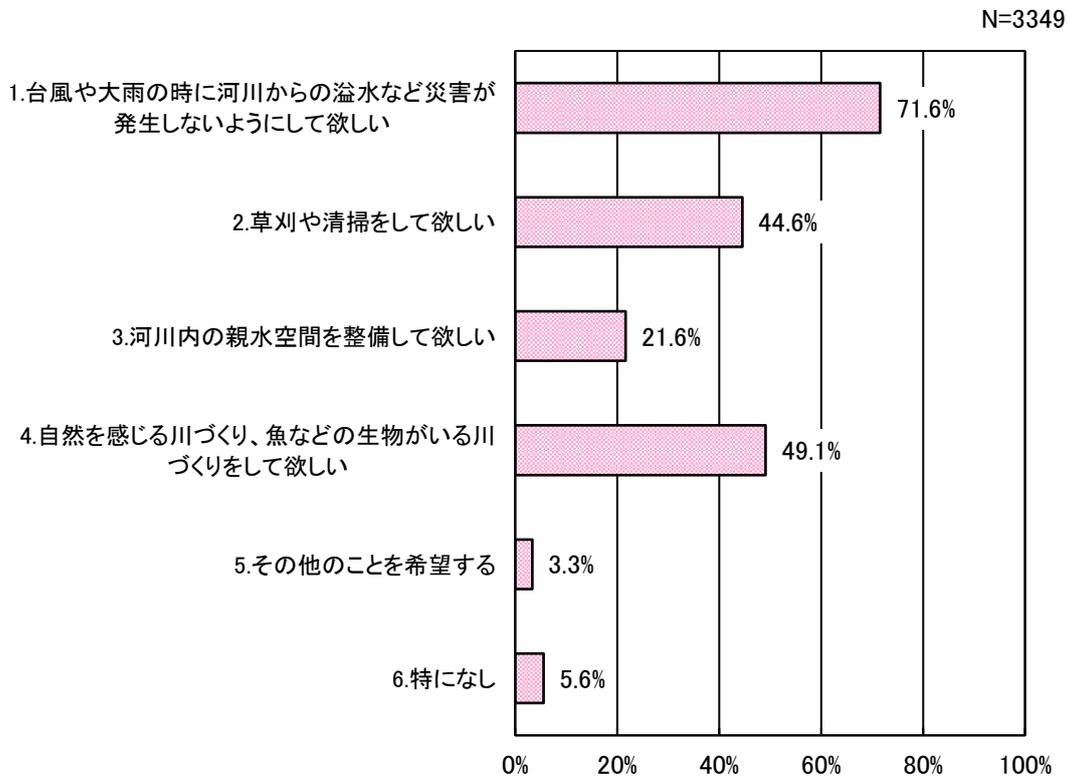


<その他の利用をしている方>

問3-2 問3-1で「4. その他の利用をしている」を選んだ方は、どのような利用をしているか教えてください。

- ・「花見」「犬の散歩など」「通勤路や買い物のための通路など」という回答が多かった。

問4-1 市内の河川の管理について特に力を入れて欲しいことを選択してください。
(該当するものすべて)



<その他のことを希望する方>

問4-2 問4-1で「5.その他のことを希望する」を選択した方は、どのようなことを希望するのか教えてください。

- ・「バーベキュー禁止」「バーベキュー時のマナー向上」という回答が多い反面、「バーベキューできる水辺空間の整備」という趣旨の回答も多かった。
- ・「ゴミのポイ捨てや不法投棄対策」の回答が次に多かった。

問5 市内の河川について、ご意見、ご感想があればご入力ください。

・問1～4での回答にあった「溢水など災害の発生」や「魚などの生物のいる川」に関する意見や「バーベキュー禁止・マナー向上」「ゴミのポイ捨てや不法投棄」についての意見のほか、「コンクリート、三面張りの人工的・無機質な川づくり」に対する批判や「広報紙などによる神戸の川のPR」を求める意見が多かった。

・具体的な河川名を挙げている意見・感想のうち、「住吉川（東灘区）」「都賀川（灘区）」「妙法寺川（須磨区）」「生田川（中央区）」「福田川（垂水区）」に関するものが多かった。

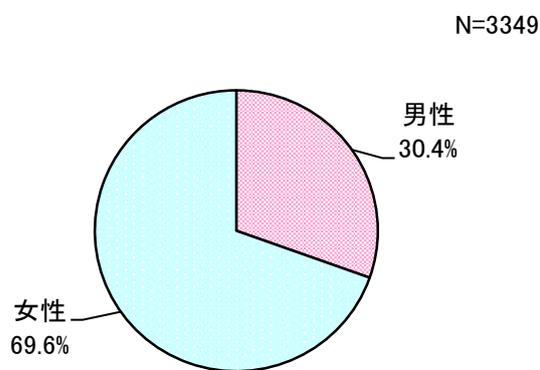
・このうち、「都賀川」での水難事故（平成20年7月）を受けての再発防止や対策に関する

意見・感想も多く寄せられた。

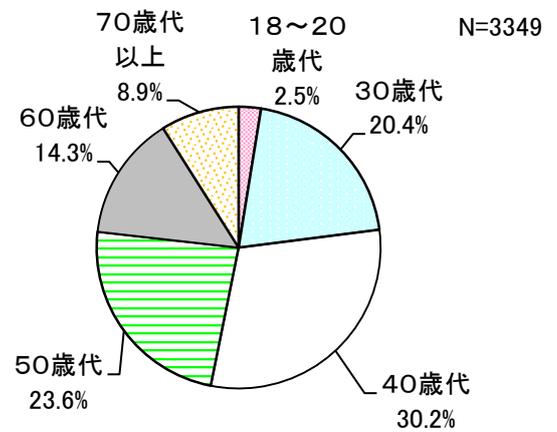
・東京から引っ越して来られた方からの「神戸の河川の多さや景観」へのお褒めのご意見があった一方、東京の「多摩川」のような自然との触れ合いを求めるご意見もあった。

全 858 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

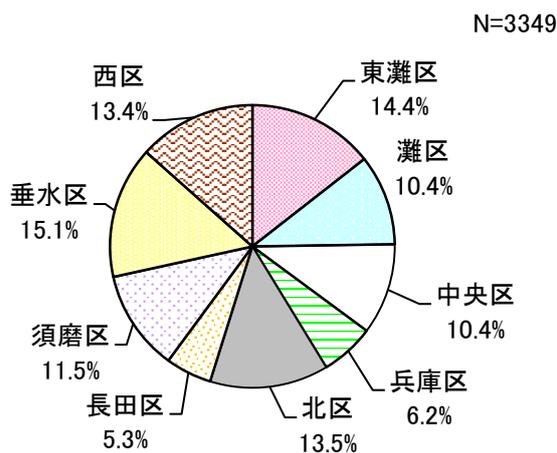
【性別】



【年代】



【区】



【職業】

